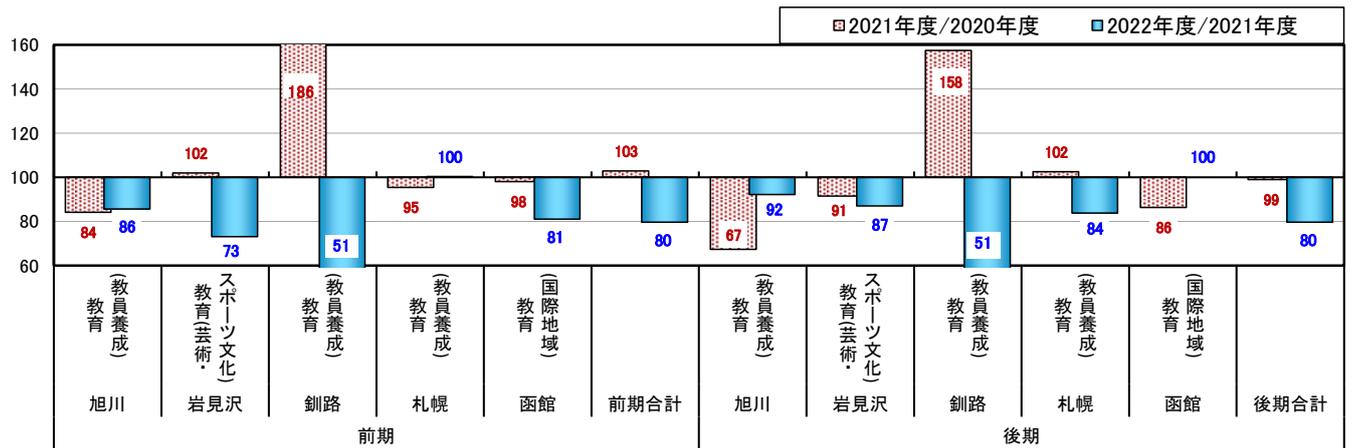


北海道教育大：大学全体では系統への低い人気で、前期、後期ともに大幅減少 前期：-319人 後期：-388人



主な入試変更点

選抜方法：岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化/美術文化) <前><後>…コース別募集→専攻一括募集
 個別試験：岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化/美術文化)<前>…ポートフォリオの提出→実
 ※2021年度は新型コロナウイルスの影響で当初予定の論+面+実を取りやめ(芸術・スポーツ文化/美術文化)<後>…ポートフォリオの提出→面+実
 ※2021年度は新型コロナウイルスの影響で当初予定の論+面+実を取りやめ(芸術・スポーツ文化/芸術・スポーツビジネス)<前>…面→面+実
 <後>…面<400>→面<700>
 札幌校・教育(教員養成/芸術体育-図画工作・美術教育)<前>
 …面<150>+実<250>=総点<400>→面<200>+実<200>=総点<400>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、707人(80)の大幅減少、系統への低い人気に加えて、コロナ禍による移動の敬遠から北海道内の札幌を除いた地方における極端な地元志向が緩和された影響もあった。日程別では、前期は319人(80)の大幅減少。志願者数は1,300人を下回った。修学校別では、釧路校(51)は前年度激増の反動でほぼ半減。岩見沢校(73)、函館校(81)も大幅減少。後期は388人(80)の大幅減少で3年連続減少。修学校別では、釧路校(51)は前年度大幅増加の反動でほぼ半減。札幌校(84)も大幅減少。

<前期日程>

- 旭川校・教育(教員養成)(86)は、前年度大幅減少に引続き減少。専攻・分野別では10専攻・分野中、増減が5専攻・分野ずつに分かれた。特に、(教員養成/芸術・保健体育-音楽)(188)は、前年度半減の反動で90%近い激増。(教員養成/英語)(171)は前年度激減の反動で激増。一方で、(教員養成/国語)(44)は前年度減少に引き続き大幅減少。(教員養成/教育発達)(51)は4年連続増加の反動でほぼ半減。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化)(73)は、大幅減少で志願者数は200人を下回った。専攻・コース別では、(芸術・スポーツ文化/音楽文化-音楽教育・音楽文化)(200)は倍増で唯一増加した。一方で、他の6専攻・コースはいずれも減少。特に、(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-アウトドア・ライブ)(30)は前年度激増の反動で激減。また、(芸術・スポーツ文化/美術文化)(77)は専攻一括募集に変更になり募集人員が増加(募集人員の対前年度対比指数163)したが、前年度のコース別の志願者合計と比較すると大幅減少。
- 釧路校・教育(教員養成)(51)は、前年度激増の反動でほぼ半減。志願倍率は5.1倍→2.6倍にダウン。
- 札幌校・教育(教員養成)(100)は、1人増加で前年度並。専攻・分野別では、9専攻・分野中5専攻・分野が増加。(教員養成/特別支援)(200)は前年度大幅減少の反動で倍増。(教員養成/理科)(120)、(教員養成/芸術体育-保健体育)(118)、(教員養成/学校)(116)はいずれも大幅増加。一方で、減少した4専攻・分野では(教員養成/生活創造)(71)は大幅減少で2年連続減少。(教育養成/養護教育)(74)は前年度倍以上の反動で大幅減少。(教員養成/言語・社会)(81)は2年連続大幅減少。
- 函館校・教育(国際地域)(81)は、大幅減少で5年連続減少。専攻・グループ別では、(国際地域/地域協働-地域環境科学)(131)は、2年連続大幅増加。(国際地域/地域協働-地域政策)(115)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(国際地域/地域教育)(26)は前年度激増の反動で減少率70%以上の激減。

<後期日程>

- 旭川校・教育(教員養成)(92)は、減少で2年連続減少。専攻別では、後期募集を行う7専攻中2専攻が増加。(教員養成/英語)(213)は2年連続大幅減少の反動で倍以上。(教員養成/理科)(158)は、前年度激減だった反動で60%近い大幅増加。一方で、(教員養成/国語)(52)は2年連続でほぼ半減。(教員養成/社会科)(62)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(教員養成/教育発達)(82)は2年連続大幅減少。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化)(87)は、2年連続減少。専攻・コース別では、(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-スポーツ・コーチング科学)(153)は前年度大幅減少の反動で50%以上の大幅増加。一方で、(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-アウトドア・ライブ)(46)は前年度激増の反動で半減以下。(芸術・スポーツ文化/芸術・スポーツビジネス)(49)も半減以下。(芸術・スポーツ文化/音楽文化-音楽教育・音楽文化)(62)は前年度増加の反動で大幅減少。また、(芸術・スポーツ文化/美術文化)(86)は専攻一括募集に変更になり、募集人員が減少(募集人員の対前年度対比指数60)したこともあり減少だが、志願倍率は3.5倍→5.0倍にアップ。
- 釧路校・教育(教員養成)(51)は、前年度60%近い大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は300人を下回った。
- 札幌校・教育(教員養成)(84)は、大幅減少。志願者数は4年連続280人台で推移していたが250人を下回った。専攻別では、後期募集を行う6専攻で増減が3専攻ずつに分かれた。(教員養成/学校)(136)、(教員養成/特別支援)(129)、(教員養成/理科)(115)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(教員養成/言語・社会)(56)は3年連続増加の反動で40%

以上の大幅減少。(教員養成／生活創造)(63)、(教員養成／養護)(67)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○**函館校・教育(国際地域)(100)**は、4年連続減少の反動はなく、志願者数は前年度と同数。専攻・グループ別では、4専攻・グループ中で増減が2専攻・グループずつに分かれた。(国際地域／地域協働－地域政策)(114)は前年度大幅減少の反動で増加。(国際地域／地域協働－地域環境科学)(109)は増加で2年連続増加。一方で、(国際地域／地域教育)(64)は前年度増加の反動で大幅減少。